

令和 8 年度に向けた改善方策

世田谷区立八幡小学校 校長 阪田 敦子

1 学習指導について

令和 7 年度は、児童が自ら考えたり友達と協力して課題を解決したりする学習活動が定着し、「先生は課題について自分で考えたり友達と考えたりする時間を授業の中で取っている」が 92.7%、「分かりやすい授業をしている」が 93.8%と高い評価を得ました。また、保護者からも主体的な学びや授業改善への理解が高まっています。

一方で、「学ぶことが楽しい」は 74%にとどまっていることから、令和 8 年度は児童一人一人が学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを推進します。児童の興味・関心を生かした探究的な学習や体験を通した学習活動、ICT の効果的な活用等を進め、主体的・対話的で深い学びのさらなる充実を図ります。

2 生活指導について

令和 7 年度は、学校生活のルールやマナーの定着、情報モラル教育の推進に継続して取り組みました。児童・保護者ともに生活指導に対する評価は概ね良好であり、タブレットの適切な利用や学校生活におけるルールの定着が進みました。また、けがの減少につながるなど成果が見られました。

令和 8 年度は、登下校時のマナー向上や気持ちのよいあいさつの定着に重点的に取り組みます。また、家庭と連携しながら情報モラル教育のさらなる充実を図ります。

3 学校行事について

令和 7 年度は、「こどもまんなか」の考え方のもと、児童が主体的に参加する学校行事を推進しました。その結果、児童・保護者・地域のいずれからも高い評価を得ることができました。学校行事を「楽しい」と回答した児童は 92.7%となり、子どもたちの意欲の向上につながりました。

令和 8 年度は、児童の意見や思いをさらに取り入れ、企画や運営にも主体的に関われる行事づくりを進めます。行事を通して達成感や自己肯定感を高める取組を推進していきます。

4 キャリア教育について

令和 7 年度は、キャリアパスポートを活用した目標設定や振り返りの充実に取り組みました。その結果、「なりたい自分に向かって考えたり振り返ったりしている」の評価が 79.1%となり、児童の主体性や自己理解の向上が見られました。

令和 8 年度は、自ら目標を立てて挑戦し、振り返りを次の学習につなげる取組をさらに推進します。また、学校だよりやホームページ、保護者会等を通してキャリア教育の意義や取組について分かりやすく発信していきます。

5 教職員について

令和 7 年度は、学年チーム担任制のもと、多くの教職員が協力しながら児童の成長を支える体制づくりを進めました。児童からは「授業は分かりやすい」が 95.9%と高い評価を得ており、教職員の指導力向上につながっています。

一方で、児童・保護者ともに相談のしやすさに関する評価が低下していることから、令和 8 年度は保護者や児童が安心して相談できる環境づくりに努めます。また、学年チーム担任制のよさや成果について積極的に周知していきます。

6 学校全般について

令和 7 年度は、「学校は楽しい」「学校が好き」という回答が高い割合を維持し、児童の学校生活への満足度の高さがうかがえました。また、全校で自主学習に取り組んだ結果、家庭学習に対する肯定的な評価が大きく向上しました。さらに、学び舎における中学校との交流活動も継続して実施しました。

令和 8 年度は、自主学習のさらなる充実を図るとともに、学び舎の連携や中学校との交流活動を一層推進します。また、地域行事への参加意識を高め、地域とのつながりを深めていきます。

7 学校からの情報提供について

令和 7 年度は、学校だよりやホームページ等を通して学校の様子や教育活動について積極的に発信し、「学校の様子が分かる」という保護者・地域からの評価は高い水準を維持しました。

一方で、「さぎそう学舎」の取組については認知度が十分とは言えない状況が見られました。令和 8 年度は、保幼小中連携の取組や成果を具体的な事例とともに積極的に発信し、学び舎の教育活動への理解を深めていきます。

8 学校の経営方針について

令和 7 年度は、学校の重点目標について保護者・地域から一定の理解を得ることができました。また、本校が重点的に取り組む「非認知能力の育成」についても教育活動を通して実践を積み重ねてきました。

一方で、保護者の中には「非認知能力」という言葉自体が分かりにくいという意見も見られました。令和 8 年度は、「最後までやり抜く力」「協力する力」「挑戦する力」など具体的な子どもの姿を通して、本校の教育方針をより分かりやすく発信していきます。

9 学校と家庭の連携について

令和 7 年度は、多くの保護者に学校公開や学校行事へ参加していただき、学校と家庭が連携して子どもたちの成長を支えることができました。また、オンラインを活用した保護者会等により参加機会の拡大にもつながりました。

令和 8 年度は、保護者が参加しやすい環境づくりをさらに進めるとともに、学校と家庭が子どもの成長や課題を共有できる機会を充実させていきます。

10 地域との連携について

令和 7 年度は、地域人材や施設を活用した教育活動、防災活動や地域行事への参加などを通して、学校・家庭・地域の連携を深めることができました。また、「地域と学校が連携することが大切である」と考える保護者や地域の割合も高い結果となりました。

令和 8 年度は、地域と協働する教育活動をさらに推進し、地域行事や防災活動への参加を通して、子どもたちが地域の一員として活躍できる機会を大切にしていきます。また、学校運営委員会の活動についても積極的に情報発信を行います。

11 学校の安全性について

令和 7 年度は、避難訓練やセーフティ教室、安全点検を計画的に実施し、安心・安全な学校づくりを推進しました。特に自然災害時の対応や情報提供については保護者から高い評価を得ることができました。

令和 8 年度も、引き続き安心・安全な学校づくりを推進するとともに、地域や関係機関と連携した防災教育の充実を図ります。また、学校の安全対策や災害時の対応について積極的に情報発信していきます。

令和 8 年度に向けて

八幡小学校では、令和 7 年度の成果を基盤として、「こどもまんなか」の理念のもと、児童一人一人が主体的に学び、自分らしく成長できる学校づくりを推進してまいります。また、家庭・地域との連携をさらに深め、さぎそう学舎の取組を生かしながら、地域とともに子どもを育てる学校を目指してまいります。